

日本が太平洋戦争に突入した理由が悲しすぎる

[梁田貴之@YANADATakayuki](#)

[フォローする](#)

たかだか100年ちょっとだから、ちゃんと因果関係おさえておかないと、また「アベノミクス」だの「オリンピック」に目くらましされ、「中国船が領域を侵した」とNHKがプロパカンダのお先棒担ぐたびに、サルみたいに興奮して騙されることになる。 matome.naver.jp/odai/213621457...

[返信](#) [リツイート](#) [いいね](#) 2013.09.17 14:32

日露戦争の莫大な負債

実は日本人は、借金の奴隷だった。



出典 www7.ocn.ne.jp

[借金につかまった日本](#)

日露戦争で日本は、米国系ユダヤ人から借金をして戦争を行い、「ロシアに勝利」しました。

しかし、実際には同じユダヤ人銀行家がソビエトに金を回し、ロシアの崩壊を誘導していたとも言われます。

太平洋戦争開戦時はまだ、日本は米国のユダヤ系資本に莫大な借金を負っていました。終戦後、米国は同盟国に戦争賠償金を課さないことを呼びかける一方で、結局、しっかり昭和の終わりまでかけて金利を加えて日本から借金を回収したのです。

親世代の借金で、突入し、負けた、かっこ悪い太平洋戦争

結局、親の世代が莫大な借金をしたことが太平洋戦争の原因でした。負債さえなければ、戦争をする必要さえありませんでした。その借金の貸主は米国でした。負債を踏み倒せば、国家転覆する、それが日本が第二次世界大戦に参戦した理由だったのです。



出典 note.chiebukuro.yahoo.co.jp

ナチスと協力した日本

日本がなぜナチスに与し同盟国側で第二次世界大戦を戦ったのか、日本がなぜ軍国主義に向かっていったのか考えてみましょう。

すると、前の世代の負債をごまかすために対外的関心に向けさせられていたことに気が付きます。結局、その借金は戦後もさらに孫の世代までかけて回収されることになりました。

日露戦争の負債を完済したのはいつなのか？

日露戦争遂行のためのポンド建て日本国債は、借換債を発行しながら1986年（昭和61年）にようやく完済した最終的に返済を完了したのは82年経ってからでした。82年前の人の借金をせつせと返済していたと、団塊世代の何割が意識していたでしょう。



出典 www.10yen.info

昭和61年って結構最近！？

日本が日露戦争の負債を返しきった昭和61年には、こんなできごとがありました。

- ・東京サミット
- ・三原山が209年ぶりに噴火

これを最近のことだと感じる方も多いはず。

実に82年間、戦前から戦後まで日本は米国人に負債を返しつづけたのでした。日本が戦後復興したのは米国のおかげだと一部の日本人は言います。また、親米の日本人は少なくありません。

国債の返済は、国民の税金から行われる

自動車王ヘンリー・フォードは以下のように述べています。

国債とは元金に応じた利息支払いの義務を含む政府の約束手形の発行である。もし5分利付とすれば、国家は20年後に利子の形で借りた金額と同額の金利を支弁しなければならないし、40年後には利子だけで元金の2倍、60年後にはその3倍を支払い、しかも元金は依然として元のままとする事になる。この支払は納税者の最後の一文まで巻き上げるが、それは債権者である外国の金持ちに支払う為で、自国の用に供するために無利子の金を集めているのではない。

国債も国内債に限られている場合は国の貧者の金が国内の富豪に流れているだけだが、外国債の場合は自国の金が外国に流れているのである。そして国家はその利子を払う為に又外国債を発行する羽目に落ち入るのである。

『国際ユダヤ人』 ヘンリー・フォード著